



2020-2021 RI テーマ **ロータリーは機会の扉を開く**

天童東ロータリークラブ

クラブテーマ「**今だからこそ出会いを大切に 奉仕を楽しみ活動的に そして団結**」

会長／齋藤 幸雄さん ・ 幹事／佐藤 栄治さん

通常例会 1672 回・本年度第 11 回 例会日 2020 年 10 月 14 日会場／天童ホテル

司会／金 星さん ソング／四つのテスト タクト／永山 和敏さん

会長挨拶 齋藤幸雄 会長

皆さん、こんにちは。今日は秋晴れの天候でしたが今はちょっと曇っているようです。今日の夜から寒気が入り込む為、気温が下がるようです。風邪などひかないよう、またインフルエンザ、コロナ感染にも十分気を付けてください。

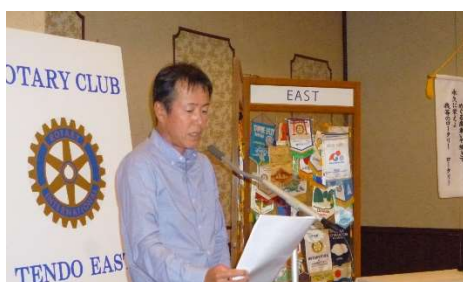
本日のお客様をご紹介します。地区米山奨学・学友委員会の田中隆一委員長です。米沢 RC よりお出でいただきました。もう一方は山形西 RC の芦野茂地区委員です。後程、田中委員長には演題『米山奨学会の現状について』の卓話をお願いしております。



ところで、山形市の大野目に協同組合山形流通団地という卸業団地があります。皆さんはいつ頃からあるのかお分かりでしょうか。山形市街地の過密化による交通事情の悪化が進み卸売業界はその影響を受け、物流機能の低下を余儀なくされていました。また、取扱商品の多様化、数量、規模拡大に伴い店舗・倉庫が狭くなっていましたが、土地の面から拡大が不可能でありました。これらの問題を解決し卸売業機能の近代化を図るため、組織的な流通団地を郊外に造成する必要にせまられ、昭和 48 年に 121 名で組合を設立、昭和 49 年団地造成に着手、昭和 54 年に移転完了となりました。私の会社も 52 年 9 月に移転いたしました。移転時は 119 社の会社でしたがバブル崩壊、さらにリーマンショックにより、現在は食料品部会 20 社、繊維製品部会 9 社、機械金属部会 24 社、日用品雑貨部会 22 社、建材燃料部会 19 社、計 94 社まで少なくなりました。ちなみにバブル景気は、昭和 61 年から平成 3 年まで約 51 ヶ月だそうです。バブル崩壊後も数年は好景気の雰囲気は維持されましたが、景気は徐々に悪化、平成 12 年のリーマンショックでさらに悪化し、そのため団地内でも倒産、廃業が相次ぎ現在の数字となりました。私の会社は繊維部会に所属しております。当初は 13 社ありましたが現在は 9 社まで減ってしまいました。さらに今回のコロナ騒動で卸売業界も大変な時期を迎えたと思っております。5 月に緊急事態宣言が解除されてからは、少しはよくなりましたが、7 月ごろからコロナ感染拡大第二波の影響でまた景気が落ち込みました。元に戻るのにはまだまだ時間がかかると思います。コロナの収束の兆しが早く見えてくるのを願うところです。

今月は米山奨学会月間です。後程、米野委員長よりお話があると思いますが、皆さん特別寄付のご協力お願いいたします。

幹事報告 佐藤栄治さん



1. 国際ロータリー2800 地区事務所より、次年度地区委員選出のお願いが届いております。

地区役職名 第3 ガバナー補佐 武山 茂 様

2. 天童商工会議所より、第 13 回新春賀詞交換会協賛金のお願いが届いております。

日時：令和 3 年 1 月 4 日 午後 3 時～

場所：緑の迎賓館 アンジェリーナで開催予定

委員会報告 鎌倉 景昭さん

いつも建勲神社に関しまして大変お世話になっております。また皆様方より多大な御奉賛をいただき重ねて御礼申し上げます。

建勲神社の150周年御奉賛(令和2年10月18日)の遂行にあたって準備が整いました。当日は多くの方々より御参詣頂きたいと思っております。尚、御札は御奉賛終了後次回の例会時にお配りする予定です。



ロータリーの歴史について・3分間スピーチ 担当 新関彌一郎パストガバナー

◆ロータリーの歴史について

1905年、異業種の4家族が集まってロータリーの第1回例会を開催しました。当時のアメリカはなかなか友達が出来にくく、同業者同士では腹を割って話が出来ない等の閉塞的な社会でしたが、その中で異業種同士の家族で月2回定期的に集まることを決めたそうです。家族で定期的に集まって例会を開くというスタイルを作ったことは、現在のロータリーの活動の礎、ポイントになっているのではないかと思います。

◆新型コロナ感染について昨今考えること

新型コロナウイルスについて、世の中は騒ぎ過ぎではないかと私は思います。クルーズ船での感染拡大で死者は出ましたが、インフルエンザでは年間の死亡者数は五千〜一万人です。新型コロナウイルスでの死亡者数が現在1600人程度で、死亡者の内訳をみると高齢者が多いことを鑑みればごく普通の流れであり、新型コロナウイルスの感染を過度に恐れすぎなくてもよいのではないかと考えます。



スマイル報告 半沢清彦さん

- 米山奨学会 田中隆一奨学学友委員会委員長、芦野茂副委員長 天童東RCへようこそ
→齋藤会長 新関(彌)さん 米野さん 赤塚さん 鞍掛さん
- 当社(株式会社半澤鶏卵)が経済産業省地域未来牽引企業に選定されました!→半沢さん

【本日の卓話】 地区米山奨学会 田中隆一委員長 芦野 茂副委員長

演題「米山奨学会の今の現状について」



米山奨学会を立ち上げた米山梅吉は、19歳でアメリカ留学を果たし、三井信託株式会社の創立など事業家としても成功、その後1920年に日本初のロータリークラブを立ち上げたロータリークラブの父です。ロータリークラブ設立後は、三井報恩会を立ち上げ、社会事業、奉仕活動を広め、1946年78歳この世を去るまで、感染症の療養所建設や研究助成、図書館の寄贈、私財を投じて現青山学院初等部の前進である緑岡小学校の設立など、未来を担う子供達の教育にも尽力し多くの社会貢献を果たしました。梅吉の死後、梅吉の遺徳を永久に偲ぶことができる、有益な事業を始めようと海外から優秀な学生を招き、日本での研究を支援する目的で、1952年東京ロータリークラブによって、米山基金が設立されま

した。1クラブの単独事業として始まったこの奨学事業は、やがて全クラブでの合同事業に発展、多くのロータリアンの努力により、1967年7月財団法人米山記念奨学会が設立され、国内最大規模に成長し現在に至ります。

米山奨学基金の事業は、日本の独自の事業であり、34地区合同の事業です。1952年に事業が始まって以来、日本で学びたい外国人留学生のために、全国統一の基準に沿って奨学生を選考し、家庭状況、経済状況にとらわれることなく、学業への意欲、人物面、学業面が優秀で将来日本との懸け橋になる優秀な人材の育成を支援しています。

当地区での奨学生は、2020年は中国、韓国、台湾、ベトナム、インド、マレーシア、スウェーデン、フィンランドの8か国からの奨学生15名を支援しており（第10回に参加されたノム・リンさんもその一人です）、次年度も新たに支援する奨学生がすでに決定しています。ただ、今年は新型コロナウイルスの影響により、学業のみならず世話クラブの活動にも影響がでておりましたが、カウンセラーが密な連絡を行い、日本へ入国できない奨学生にはオンラインでの例会参加を推奨したり、例会が休会した場合は例会以外の日を調整して奨学金を手渡しするなど、コロナ禍でも手厚く充実した支援ができるように努めています。

それらの事業内容を支えているすべての財源は、皆様の寄付で成り立っております。全国平均15,055円の中、2800地区は10,881円。全34地区26位です。個人の平均にすると、毎月の活動会費から捻出される基本寄付5,000円は全国平均を上回るも、特別寄付金は下回る傾向にあり、特別寄付金の増額はこの奨学事業を支える重要な役割を担っています。地区内においては会員数の違いなどそれぞれのクラブ内で厳しい諸事情がおりかと思いますが、特別寄付金への増資にぜひご理解をいただきたいと思っております。

当地区目標額（普通＋特別寄付金）1人あたり15,000円になるよう、今後もさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

出席報告

本日会員52名：出席者37名（出席率：88.22%、前々回出席率：91.11%）